

テーマ：観光（実践校）

後志管内 ニセコ町立ニセコ中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・総合的な学習の時間において、町内の観光や産業、自然等の調査活動を行い、得た知識をもとに「ニセコガイド検定」を作成することを通して、ニセコ町の素晴らしさを再発見し、町のことをもっと知りたいという探究心を高め、ふるさとへの愛着や誇りを育む学習の充実を図りました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

観光パンフレットや昨年度の「ニセコガイド検定」を参考に、検定を通してニセコ町のどのようなことに興味・関心をもってもらうかを考え、個別の課題を設定しました。

(2) 情報の収集

ニセコガイド検定の作成に向けて、個別に設定した課題に関わる多くの情報を得ることができるよう、様々なパンフレット等から情報を得たり、地域の複数の企業へ訪問し直接取材して聞き取ったりしました。

(3) 整理・分析

取材した企業からの情報等を歴史や環境などの視点で整理・分析し、「ニセコガイド検定」としてまとめていきました。個別に作成した検定問題を互いに交流することで、ニセコ町のよさについて再確認したり、新たに発見したりするなど、探究心が高まりました。取材した方々に問題を見てもらい、アドバイスをいただきながら収集した情報を再整理し問題の改善に生かしました。

(4) まとめ・表現

検定に盛り込むことができなかつた内容などをレポートにまとめ、ニセコ中学校の生徒に見てもらい興味を高めるとともに、全校で検定を行い、ふるさとに対する関心を高めました。



【企業への取材訪問の様子】



【取材先の方と検定問題体験】



【ニセコガイド検定展示の様子】

②生徒の感想等

- ・自分たちが知ったこと、考えたことを、検定問題にして伝えましたが、たくさんの人に言葉で伝えていくことも大切だと思いました。
- ・自然や観光の面でニセコ町について新たな発見がありました。さらに、ニセコ町で取り組まれているSDGsなどの問題についても考えてみたいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 生徒アンケートから、「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した割合が66%から76%、「自分の住んでいる地域の観光や産業についてもっと調べたいと思う」と回答した割合が46%から67%、「北海道や自分たちの住んでいる地域に、誇りや愛情をもっている」と回答した割合が95%から98%、「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合が56%から72%にそれぞれ増加したことから、ふるさと教育の充実を図ることができました。
- 全校で「ニセコガイド検定」に取り組むことにより、全校生徒のニセコ町に対する興味・関心を高めることができました。
- 学習活動を一層充実させるため、コミュニティ・スクールやニセコ町の町おこし協力隊などと連携を図り、地域の施設や人材との関わりをさらに深めていく必要があります。